

第140回 科学技術部会	資料 3－2
令和 6 年 7 月18日	

令和6年度 厚生労働科学研究費補助金(三次公募)課題(案)一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業 (AC)	医薬品添付文書情報の次世代提供基盤の整備に関する研究	・ 医薬品添付文書の電子化に係る欧米動向の調査(医薬品の固有識別子を含む)を行い、それを踏まえ、添付文書情報のデータ構造化対象を明らかにする。 ・ XML形式からHL7-FHIR形式へのコンバータを作成し、実用可能性を確認する。実用可能性の確認のため、実際にHL7-FHIR形式に変換した添付文書データを100以上作成し提出する。 ・ 添付文書情報のHL7 FHIR形式での提供に向けた基盤整備の推進策について国際的整合性も踏まえて提言をまとめる。	15,000	1	3
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業 (BA)	ポストSDGsを見据えた新たなUHC指標開発に資する研究	・ 指標3.8.1以外の既存の保健サービスカバレッジ指標のフレームワークの整理と分析 - 既存の指標に関する文献調査を通じて文献を整理した上で、UHCの達成について評価を行うに適切な指標について分析を行うこと ・ 従前の14指標とWHO決議等の国際会議の成果物とのギャップ分析 2015年以降に採択されたWHOの決議案や主要な国際会議の成果物の中で、従前の14指標ではカバーされていない保健関連サービスをUHCに統合する動きがあるか調査し、まとめること。 ・ ポストSDGsを見据えた保健サービス・カバレッジの追跡指標の提案 - 既存のデータベースを活用することを前提とし、上記のギャップ分析の結果も踏まえた新たな追跡指標を提案すること。 ・ 得られた研究成果のUHCナレッジハブでの活用 - UHCナレッジハブにおいて、収集・作成すべきデータ及び指標を、財保連携の視点も含めつつ、提案すること。	3,634	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
がん政策研究事業 (EA)	HPV検査単独法による子宮頸がん検診に関する普及啓発に係る医療機関向けツールの開発のための研究	・「対策型検診におけるHPV検査単独法による子宮頸がん検診マニュアル」等を反映した、検診内容と精度管理に関する普及啓発に係る医療機関向けツールを作成する。ツールについては、幅広く継続的に使用可能で、医療従事者が子宮頸がん検診を十分に認知できるものとする。 ・作成した普及啓発ツールが医療機関等において容易に利活用できるようにするために、対象者の特性等を踏まえた適切な媒体について調査するとともに、その媒体を用いて普及啓発を行う。 ・作成した普及啓発ツールは、HPV検査単独法を導入するまたは導入予定がある自治体や医療機関等において実際に活用し、実用性を確認する。 ・受診者等から医療機関等に寄せられた質疑の実例をとりまとめ、対応について整理した資料を作成する。	5,000	1	2
	介護ニーズを併せ持つ、治療中の高齢のがん患者が抱える治療や療養生活に関する課題の把握及び地域における医療・療養生活に関する支援の提供に資する研究	・介護ニーズを抱える治療中の高齢のがん患者やその支援を行う医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)や看護師、介護支援専門員等に調査を行い、治療や療養生活に関する課題やその支援の事例等について収集する。 ・上記の調査で把握した課題等に対し、様々な地域で活用できる解決策等を検討し、提言する。	5,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 (FA)	食事摂取基準の策定を見据えた栄養学の進展に資する研究	・食事摂取基準の推定平均必要量と目標量の設定に影響を与え得る、栄養素横断的な要素(生体指標、疾患アウトカム、栄養素摂取量、食習慣、人種、食品成分表等(以下「影響因子」という。))について整理する。その上で、これらの整理内容の妥当性を検証する上で適切と考えられる数種類の栄養素(少なくとも脂溶性ビタミン2種、水溶性ビタミン4種、多量ミネラル1種、微量ミネラル2種)を対象に、これらの影響因子の状況について、国内外における情報の収集、文献レビューを行い、栄養素毎に結果を取りまとめる。 ・文献レビュー等の結果を踏まえ、我が国の食事摂取基準を策定していくために新たに蓄積していくべき栄養学のエビデンスについて整理する。	8,000	1	2